

第86回定時総会・第208回理事会を開催 「2019年度事業実績・2020年度事業計画」などを審議

2020年度の内山田体制整う 副会長に自販連の加藤会長 石連の杉森会長とリース協の露口会長を評議員に委嘱

第

86回定時総会では、審議に先立って内山田竹志会長が挨拶し、「税制改正をはじめとした市場の活性化に加えて、死亡事故ゼロに向けた交通安全活動、自賠責保険料積立金の早期繰り戻しの実現やクルマ好きの拡大といった重点事業に引き続き取り組んでまいります」と、意欲的に取り組んでいく方針を示した。この後、内山田会長を議長に選出し、議案の審議に入った。総会・理事会の議案については、第83回運営委員会（委員長：永塚誠一日本自動車工業会副会長）および第207回理事会においてそれぞれ書面審議のうえ、5月上旬までに原案通り承認されている。

総会では、事務局から山岡正博専務理事が「2019年度事業実績・2020年度事業計画」、「2019年度決算・2020年度予算」、「理事選任」の3議案についてそれぞれ説明。審議の結果、いずれも原案通り承認された。これにより、退任した日本自動車販売協会連合会の小関眞一理事相談役に代わって同連合会の加藤和夫会長が理事に就任。続く第208回理事会では、再任された内山田会長の議事進行の下、新たに理事に就任した自販連の加藤会長が副会長に選定されたほか、石油連盟の杉森務会長と、日本自動車リース協会連合会の露口章会長の2名が新たに評議員として委嘱され、3期目の内山田体制が整った。

「2019年度事業実績」で報告された通り、昨年度、当会議所では「自動車総合団体として果たすべき役割・事業を改めて整理する」として、委員会の見直しを行っている。道路・環境、交通安全、保険、法制、人材、特別の6委員会を新設の「道路・交通委員会」と「経済・産業委員会」の2委員会に集約し、「運営委員会」と「税制委員会」を加えた計4委員会が中心となり事業活動を続けている。また、MaaSや交通安全、保険といった個別テーマごとに助言・関与いただく、5名の特別委員長に就任いただいている。事業計画では、

○新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、世界経済・日本経済は、大きな打撃を受けている。今後の経済情勢については、感染拡大ペースや終息時期も不透明なため、見通すことができない



新副会長に選定され挨拶をする自販連の加藤会長

○2019年度の国内新車販売台数は、503万8,727台（前年度比4.2%減）と4年ぶりに前年度を下回った。本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で消費者心理が萎縮しており、今後の需要は全く見通せない

○CASEを中心にクルマとクルマ社会の変革が加速し、政府・自動車業界の取り組みに一層注目が高まる

との環境認識の下、今年度も引き続き「組織運営」「税制」「交通安全」「保険」「クルマ好き拡大」を重点項目（分野）として注力し、4委員会を中心に積極的に諸活動を展開していくことにしている。

◇事業方針と重点項目は次の通り。

【事業方針】

- (1) 果たすべき役割に基づく事業の見直し
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止や終息後の景気盛り上げなどに、自動車業界として何ができるかを常に考え、業界全体で力を合わせ困難を乗り越えていく
 - ・外部環境の変化は極めて速く、自動車総合団体として果たすべき役割（ビジョン・ミッション）に常に立ち返り、不断に事業や体制を見直していく
- (2) 重点項目への取り組み
 - ・引き続き重点項目（分野）を、「組織運営」「税制」「交通安全」「保険」「クルマ好き拡大」とし、関

内山田 竹志会長 ご挨拶

緊急事態宣言が解除されたものの、依然として新型コロナウイルス感染の収束が見通せない大変な時期にもかかわらず、本日はご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、平素から私ども日本自動車会議所の活動に、格別のご理解とご協力をいただき、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

なお、「県をまたぐ移動は自粛する」という政府の要請に基づきまして、私はTV会議での出席となっておりますが、理事の方々をはじめ、一部の方にもリモートで参加いただいております。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の災禍は、尊い人命が奪われているのみならず、世界経済の広範な悪化をもたらしており、わが国においても数多くの国民や事業者が大変困難な事態に直面しております。改めまして、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた皆さまに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、感染されている方々、不安で辛い日々を過ごされているすべての皆さまに、お見舞い申し上げます。

また、こうした状況の中、新型コロナウイルスの対応で日夜、最前線に対応しておられます医療関係の皆さま、政府・自治体の皆さま、あわせて、社会のライフラインである自動車の役割を果たすべく、社会や暮らしを支え続けるため、大変な尽力をされている会員をはじめとした自動車関連産業の皆さまに、心から深く感謝申し上げます。

まずは、感染防止を徹底することが、最優先ですが、今後、経済の再興に向けた動きを本格化させねばなりません。政府に対しましては、迅速かつ強力



審議を前に、リモート出席で挨拶をする内山田会長
な支援策が求められるのは言うまでもありませんが、わが国経済において大きな地位を有する自動車関連産業といたしましても、国民の先頭に立つ気概をもって、一丸となってこの難局を乗り切ることができるよう、皆さまとここに誓いを新たにしたいと考えております。

自動車のさまざまな分野からなる総合団体たる日本自動車会議所も、微力ではありますが、そのお役に立てるよう、順次活動を進めてまいります。政府・与党との橋渡し役をつとめていくことはもちろんですが、通常の事業活動といたしましても、税制改正をはじめとした市場の活性化に加えて、死亡事故ゼロに向けた交通安全活動、自賠責保険料積立金の早期繰り戻しの実現やクルマ好きの拡大といった重点事業に引き続き取り組んでまいります。

現在の災禍によって、私どもは「100年に一度の変革期」を超えて、「100年に一度の試練」に直面しているのかもしれませんが。本日の総会は、当会議所に対しまして、直接様々なご意見をいただける大変貴重な機会と存じますので、活発なご審議のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

係業界の支持・支援の下、諸活動を展開する

(3) 業界の連携強化

- ・日本自動車会館をベースとした会員・業界間の連携強化を継続する

【重点項目】

(1) 組織運営

- ・ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築

(2) 税制

- ・新型肺炎、税制改正（消費税・自動車税など）の影響・効果、市場動向フォロー

- ・負担軽減・簡素化要望の継続、「中長期的な視点」に関する動向フォロー

(3) 交通安全

- ・業界の取り組みPR・具体的な事故対策に貢献しうる新規施策の実施

(4) 保険

- ・6,000億円繰入金返済(増額)要望、必要な陳情・理解活動の継続

(5) クルマ好き拡大

- ・ホームページ活用・SNS立ち上げなどクルマ・イベント情報提供の充実